

発行日
令和6年3月4日(月)発行責任
後志教育局教育支援課
社会教育指導班後志教育局では
サポート企業にな
ってくれる方・会社
を随時募集してい
ます。
社教班：0136-23-1982
にお問合せください。

家庭教育サポート企業の紹介②

株式会社札幌教材製作所【小樽市】

令和6年2月26日(月)小樽市

札幌教材上田邦秀氏にインタビュー

銭函にある札幌教材製作所を訪問しました。訪問の目的はサポート企業である札幌教材で行われている家庭をサポートする取組や、地域の学校支援の活動などの紹介とともに、上田社長の家庭支援や家庭教育に対する思いや考えを伺い、他のサポート企業や地域の皆さんに上田社長の考え方を広く知ってもらい後志管内の家庭教育支援体制のより一層の充実につなげたいと考えています。

会社は学校用家具や掲示板・表示板、学校や工場などで使われる黒板の製造と教育物品など製造・検品・営業を行っている会社です。令和4年1月に銭函に移転したのにもない、後志の家庭教育サポート企業となりました。



地域に根差した会社にするために

(上田社長)札幌にいる時から地元の役に立つものづくりがしたいと思っていました。小樽に来て地元の方々との関係をもつ中でその思いがもっと強くなりました。12名と大きな会社ではありませんが、障害のある方の雇用も行い、一人一人が社員みんなを気にかけて働きやすい職場を目指しています。

女性社員は育休・産休をとってもできるだけその人の思い寄り添い復帰などがしやすいように協力し合い、子どもの行事や看護があるときは、まわりが声をかけて休みやとりやすい環境をつくっています。

子どもに自慢できる仕事にする

(上田社長)現在、道内で黒板の受注・製造ができる私の会社だけになりました。最盛期は道内でも10社以上黒板製造ができる会社がありました。これからデジタル化が進む中でも学校の黒板はまだニーズがあり注文も入ってきます。うちの社員には

ぜひ、参観日などで学校を訪れた際に「これはお父さんが作った黒板なんだよ。すごいでしょ?」と自分の子どもに自慢できるものづくりをしているという誇りをもって仕事に励んでもらいたいです。



札幌教材の職員さん(上田社長は中央)

Q・学校との具体的な関わりは?

(上田社長)地元の銭函中学校とはいくつか接点があります。一つは中学生の職場体験の協力をしています。製造工場の体験なのですが意外にも女子生徒がたくさん来てくれて作業体験をして楽しそうにしてくれているのが嬉しかったです。もう一つは職業体験のつながりから銭函中PTAが記念品で使う黒板の注文をしてくれまます。うちからも銭函中に黒板を1台寄贈しました。学校は関係ありませんが全道にあるセイコーマートのホットシエフにある黒いボードは札幌教材で作っているものです。



大型の黒板づくりをしている職員